

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第1回 神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年 5月 23日(月) 16:00 ～ 17:10

2 場 所 視聴覚室

3 あいさつ(学校長, 委員長, 支援課)

- ・今年度は612名 25クラスでスタートをした。コロナ陽性となる児童もいるが、これまでにやってきた行事等は社会状況を踏まえ、できることを行っていく。(学校長)
- ・昨年度から大きく委員が入れ替わることなく今年度が始まった。学校のことをよくわかっている方が多いのはこの協議会にとっても良いことである。(委員長)
- ・今年度は中学校区で協議会を進める。義務教育の9年でどのように子どもを育てていくかを考える場にしたい。小学校でのクラスターはあまり無いが、コロナ対策をした上で、これまでの日常に近づけていく。地域づくり協議会と協働して、地域も学校も良い方向へ進めたい。(支援課)

4 協議内容

(1)

学校経営構想

- ・昨年度から大幅な変更は無し。学ぶ喜びを実感できる教育の推進。
- ・ICT活用の推進。さらなる活用のため、日常的に使用する環境づくり。
- ・不登校の数を減らす、新たな不登校を生まない。
- ・外国籍児童(63名)への学力の保証。
- ・地域に開かれた学校, コーディネーター, ボランティアの活用。
- ・今年度は人権教育に力を入れていく。10/27に市内発表を予定。

研修部

- ・子どもが生き生きとし、わかりたい, もっとやりたい, もっと知りたいと思える学習を求めていく。
- ・教科担任制2年目で, いろいろな教科から切り口を見つけ, 研修を深める。
- ・仮説をたてて授業を進める研修を深める。
- ・ICTの活用について, どの活動で, どのように活用するのか, 職員の実践を共有してより有効な活用を見出していく。
- ・家庭学習, 読書活動は昨年同様に力を入れていく。

人権部

- ・今年度は仲間づくりに焦点を当てて活動をしていく。
- ・1学期：友だちを知る・関わる・つながる。2学期：知る・つながるを広げる。
- ・「自分のことが好きだ」の児童が70％台という昨年の結果から、家庭地域の連携を通してみんなで子どもを見ていく。子どもの自己肯定感を高める。
- ・外国にルーツのある児童が多い学校ならではの多文化共生教育の推進。

生徒指導

- ・今年度のテーマ「すっきり」問題があっても、基本はその日に解決し、スピード感をもって対応していく。
- ・相手の人が気持ちよくなるようなあいさつをする。あいさつを通してすっきりしていこう。
- ・事故の未然防止のための環境整備。
- ・持ち物への記名や、廊下歩行など、児童の規律面にも働きかける。

(2)

神戸中学校区学校運営協議会代表者会について

- ・各分散会への参加者の決定と参加確認

(3)

学校運営協議員の皆様からの本校教育活動へのご指導・ご助言

- ・登校時のあいさつに元気が戻ってきた。
- ・教育環境の整備について、樹木の剪定や伐採などが必要な学校である。市の予算の兼ね合いもあるが、少しずつでもPTAなどと協力して整備していく必要がある。
- ・朝の登校時に児童集合場所に職員が様子を見に来てくれていることがある。子どもの安全や安心だけでなく、地域や保護者の信頼を得ることにもつながるので、続けてほしい。
- ・保護者も子どもの登校の様子をわかってもらうためにも、一緒に歩く機会があるとよいのではないか。保護者のアクションも必要である。

5 総括（支援課）

学校運営協議会の第1回では、基本方針の承認が大きな目的の一つである。各部担当職員からの説明は端的でわかりやすく説明されていた。特に生徒指導対応の、その日に起こったことをその日のうちに解決する姿勢は、とても大切なことであるし、そのための体制づくりはとても良い。